

拡大教科書を調べよう！

かくだいきょうかしょ

拡大教科書

拡大教科書とは、みなさんが使っている紙の教科書の文字を大きく太くしたり、図やグラフなども見やすくかきかえたりして、目の見えにくい人にも読み取りやすくした教科書です。

拡大教科書の文字は何倍の大きさかな？

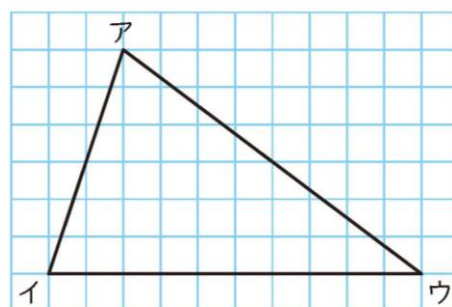
下の㊸、㊹は、教科書の174ページにのっている問題文の文字の大きさを、実際の拡大教科書と同じように拡大したものです。

それぞれの文字の大きさが約何倍に拡大されているか調べてみましょう。

●教科書 174 ページの問題文

2

右の三角形アイウの
拡大図と縮図のかき方を
考えましょう。



㊸ 右の三角形アイウの

㊹ 右の三角形アイウの

ぴったり入る長方形で囲んだり、
2つの点をとったりして、
比べてみよう。



もっと広がる算数

紙の大きさにはA判、B判などの種類があり、B1判の半分がB2判、B2判の半分がB3判、……というように決められています。みなさんが使っている算数の教科書はB5判です。学校のプリントではB4判もよく使われます。

B5判とB4判の辺の長さを比べると、縦も横もそれぞれ約1.4倍になっています。つまり、B4判はB5判の約1.4倍の拡大図です。

B6判とB5判の関係も調べてみましょう。

B4(257 mm×364 mm)
B5(182 mm×257 mm)
B6(128 mm×182 mm)